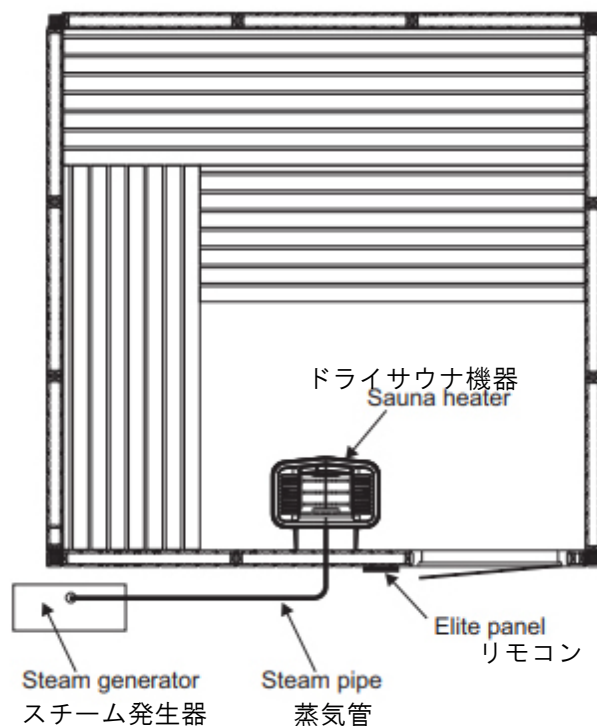


TYLARIUM 施工説明書

TYLARIUM の装置とは…



上図のように木製のサウナルームにドライサウナ機器とスチーム発生器を設置し、温度と湿度をコントロールしつつサウナルームを温める装置になります。

2つの機器が存在しますが、一つのリモコンで制御するので安全に温度と湿度の管理をする事が出来ます。

※TYLARIUM の部屋は湿度が高くなる為、かなり熱い部屋になり、サウナルームの排気口から出る空気の温度も高くなります。前室が冷たい場合は壁や天井が結露するおそれがあります。(特に屋外に面した窓ガラスは結露します)

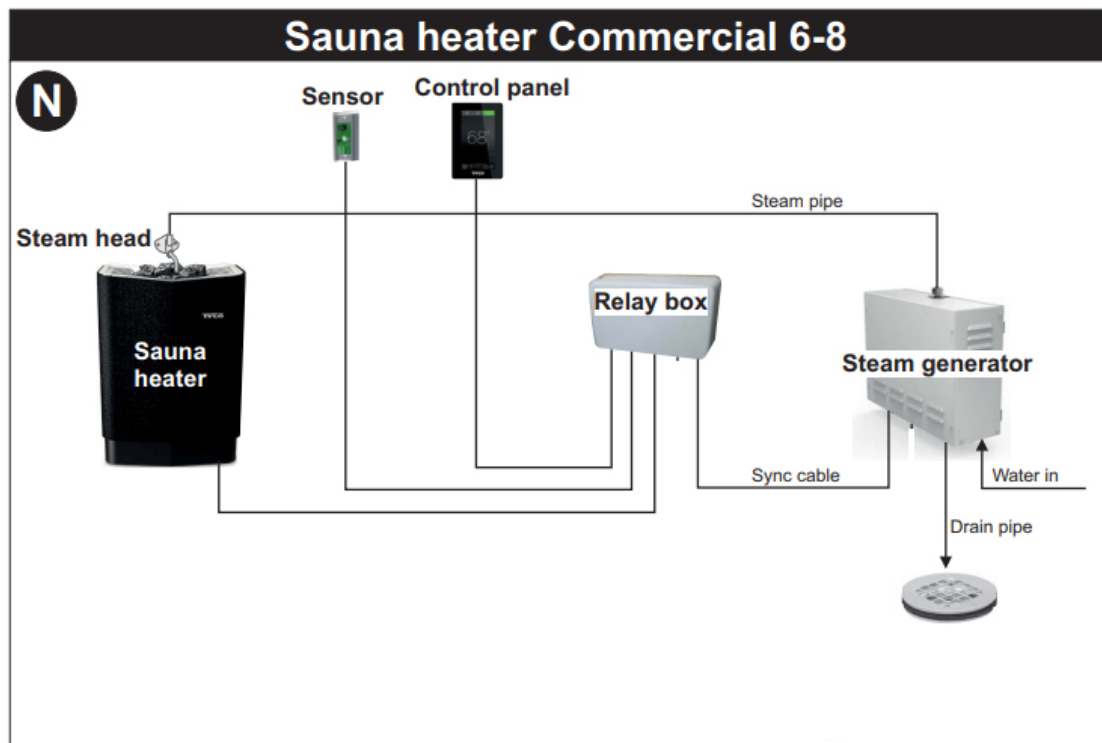
TYLARIUM の部屋は浴室の一角に置くなど、前室が防水加工のある部屋に設置される事をお勧めします。

サウナルーム自体がガラス面が多い場合もガラス部分が結露するおそれもあります。

サウナルームの大きさによって設置して頂く機器や必要な装置が異なります。

- ・ 12 立米以下の 6.6KW タイプや 8KW タイプのヒーターを使う小さめの部屋の場合はこちらの資料をご参照ください。
- ・ 12 立米以上の部屋の場合はティラリウムコマーシャルの資料をご参照ください。

6. 6KW や 8KW タイプの部屋の場合



必要な装置

・ドライサウナ機器

8 立米以下の部屋には SENSE COMMERCIAL 6.6KW

12 立米以下の部屋には SENSE COMMERCIAL 8KW

・スチーム発生器

12 立米以下の部屋には STEAM HOME 6KW タイプ

STEAM HOME は結線の仕方です 3KW/6KW/9KW とお使い頂けます
ドライサウナ機器が 6.6KW でも 8KW でも、STEAM HOME は 6KW で
お使いください。

※商業施設様で 5 時間以上連続稼働される場合は管体が大きい
STEAM COMMERCIAL 9KW をお選びください。

リレイボックス LIGHT

ドライサウナ機器とスチーム発生器を制御する機器です。

リモコン

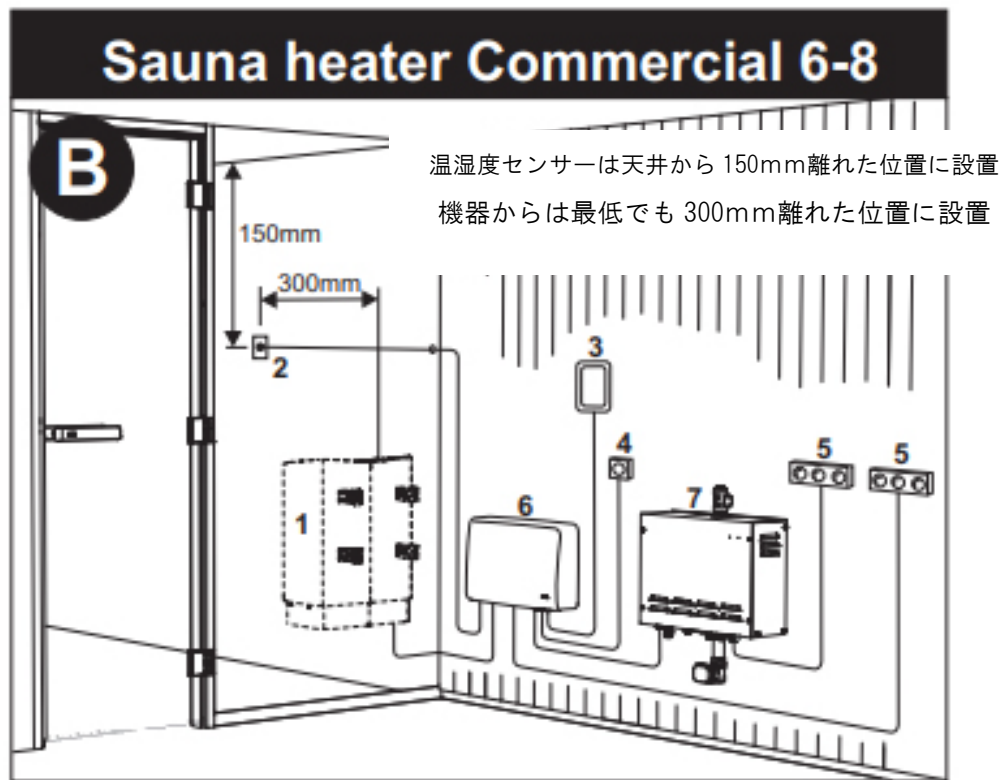
TYLARIUM の場合は ELITE リモコンのみ使用できます。

(PURE リモコンは使えません)

TYLARIUM キット

(シンクケーブルと温湿度センサー)

6. 6KW や 8KW タイプの部屋の場合



・ドライサウナルームの施工に関する事はドライサウナ共通重要事項をご参照ください。給排気口の設置方法は TYLARIUM の場合も同じです。

・ドライサウナ機器の設置に関する事は SENSE COMMERCIAL 6-8 機器用の仕様書をご参照ください。

・スチーム発生器 STEAM HOME に関する設置方法は STEAM HOME 仕様書をご参照ください。(長時間運転の場合は STEAM COMMERCIAL になります。) 機器の離隔や給排水の設備、結線方法などをご確認ください。

・通常のスチーム発生器と仕様が違う点は以下の 1 点になります。

① スチーム発生器からの蒸気配管は通常 25A ですが、15A の管で繋ぐことも出来ます。

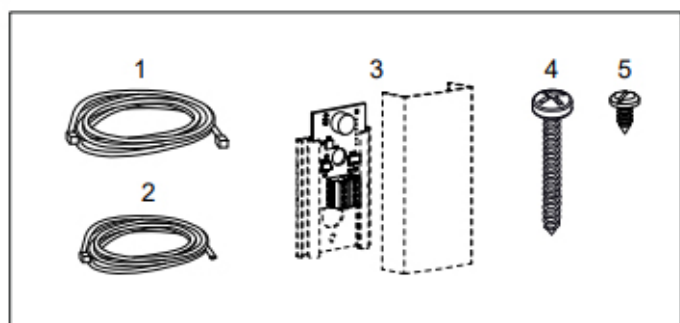
STEAM COMMERCIAL の場合は蒸気量が多い為、外径 22~28mm の管でお繋ぎ下さい。(お勧めは銅管です)

※STEAM COMMERCIAL で細い管で配管すると狭窄や音鳴りの原因になります。

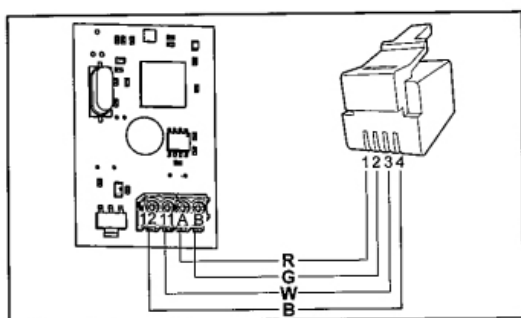
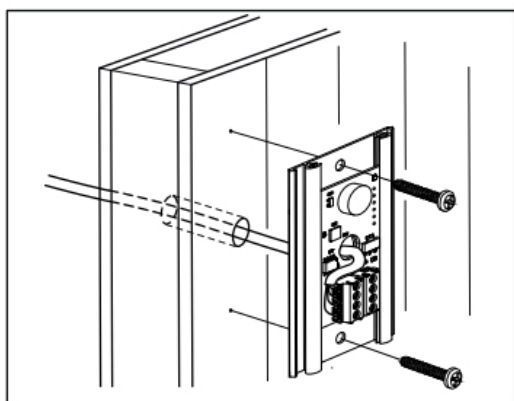
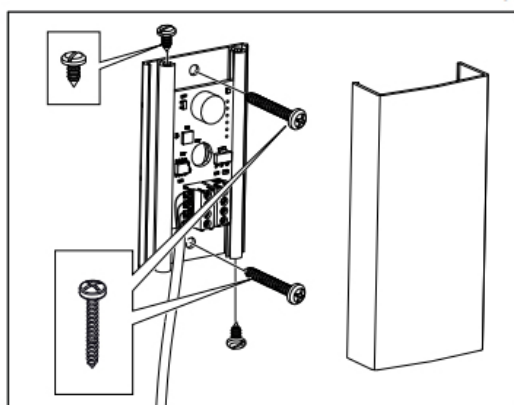
サウナルームの施工要領は必ずドライサウナ共通重要事項を確認してください。

給排気口をマニュアル通りの場所に設置していない場合は機器の安全装置が作動し、運転が出来ません。必ずマニュアル通りにサウナルームを作ってください。

TYLARIUM キットの内容物と温湿度センサー設置方法



1. 温湿度センサーケーブル 4m
リレイボックスと温湿度センサーを繋ぐケーブルです。
2. シンクケーブル 3m
リレイボックスとスチーム発生器を繋ぐケーブルです。
3. 温湿度センサー本体
4. 温湿度センサーをとめるビス
5. 基盤とめビス



・ 温湿度センサーの中の基盤は左図のように壁に設置をお願いいたします。

・ 温湿度センサーのケーブルと中の基盤を4本の線で結線してください。

1番から出ている赤線は基盤の A へ

2番から出ている緑線は基盤の B へ

3番から出ている白線は基盤の 11 へ

4番から出ている黒線は基盤の 12 へお繋ぎください。

A と B の結線が見間違いやすい図になっております。ご注意ください。

DIP SWITCH の設定



TYLARIUM を設置する場合はリレイボックスの中の基盤とスチーム発生器の基盤の DIP SWITCH を上の図の様にピンを設定してください。

- ・リレイボックスの基盤は 3 番・5 番・6 番のピンだけ下げてください。
(最初から 3・5・6 番は下がっていますが、結線の際にご確認ください)
- ・スチーム発生器の基盤は 1 番と 4 番のピンだけ下げてください。
(スチーム発生器 (STEAM HOME の場合) は初期設定が 4 番だけ下がっているのので、DIP SWITCH の 1 番も下げてください)



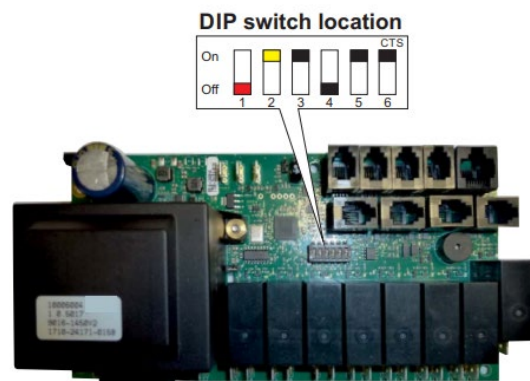
商業施設様で長時間運転をする場合はスチーム発生器は STEAM COMMERCIAL 9KW との組み合わせになります。その場合は上図のようにスチーム発生器の DIP SWITCH が変わります。

- ・リレイボックスの基盤は 5 番・6 番のピンだけ下げてください。
(最初から 5・6 番は下がっていますが、結線の際にご確認ください)
- ・スチーム発生器の基盤は 1 番と 5 番のピンだけ下げてください。
(スチーム発生器 (STEAM COMMERCIAL の場合) は初期設定が 5 番だけ下がっているのので、DIP SWITCH の 1 番も下げてください)

プリント基盤の拡大図

(バージョンによってついている部品の色が違場合があります)

DIP SWITCH はかなり小さいですが、プリント基盤の真ん中にあります。

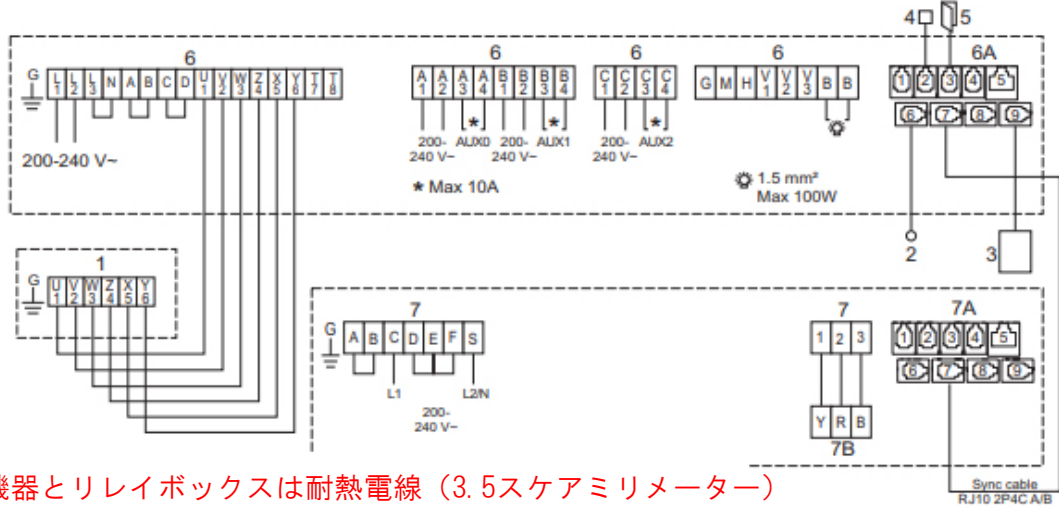
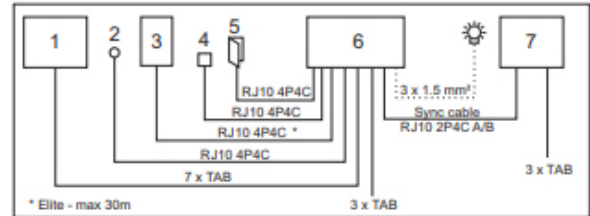


基本の結線はそれぞれの機器の仕様書をご参照ください。

違う点は以下の3点です。

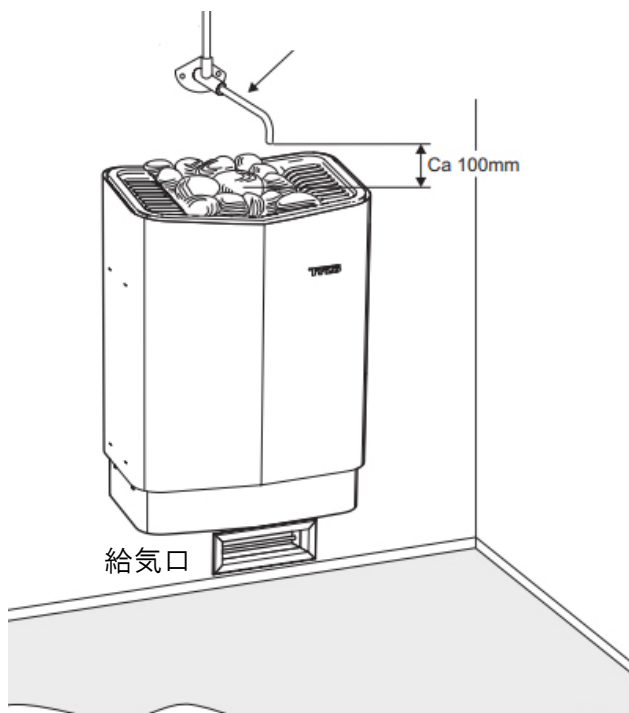
- ・シンクケーブルをリレイボックスの7番とスチーム発生器の7番のジャックに繋いでください。
- ・温湿度センサーはリレイボックスの6番に繋いでください。
- ・ELITE リモコンケーブルはリレイボックスの9番に繋ぎください。

モジュージャックのつなぎ方



ドライサウナ機器とリレイボックスは耐熱電線（3.5スケアミリメートル）で繋いでください。

蒸気吹き出し口について



STEAM COMMERCIAL9KW を使う場合は蒸気配管の径は25Aにしてください。15Aにするとスチーム発生器に負担がかかるのと、音鳴りの原因になります。

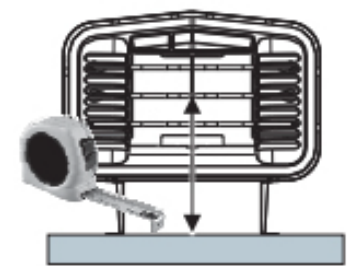
蒸気配管は 15A の管又は 22～28mm の管で配管をしてください。

蒸気の吹き出し口は左図のようなノズルを現場でご用意ください。

ノズルの先はサウナストーンから 100mm離れた位置にくるように設置してください。

ノズルの先はサウナストーンのコムパートメントの真ん中にくるようにしてください。

真ん中は後ろの壁から 230mmの所になります。



型式	TYLARIUM
出力	ドライサウナ 6.6kW / 8kW+スチーム 6kW(スチーム 9kW の場合もあり)
電源	単相 200V
適応容積	3～8 立米(ドライサウナヒーター6.6kW+スチーム発生器 6kW)(又は 9kW) 6～12 立米(ドライサウナヒーター8kW+スチーム発生器 6kW)(又は 9kW)
操作パネル	ELITE リモコン

ヒータータイプ		ドライヒーター6.6kW		ドライヒーター8kW	
		ドライ	スチーム	ドライ	スチーム
kW		6.6kW	6kW	8kW	6kW
単相 200V	amp	33	30	40	30
	mm2	5.5	5.5	8	5.5

STEAM COMMERCIAL9KW の場合
 単相:45 amp/電線 14mm2
 三相:26 amp/電線 5.5mm2

サウナヒーター本体重量 6.6kW / 8kW / 共に 17.0kg
 サウナストーン: 約 20.0kg

STEAM HOME 機器重量 15kg
 STEAM COMMERCIAL9KW 機器重量 21kg

電源の入れ方

全ての結線が終わりましたら下記の手順で電源をいれてください。

1. スチーム発生器の電源を入れてください。(0:オフ 1:オン)
2. リレイボックスの電源を入れて下さい。(0:オフ 1:オン)

その後はELITE リモコンで操作をお願いいたします。

もしブレーカーが落ちたなど電源が切れた後、再度電源を入れる時も必ず上記のようにスチーム発生器から電源を入れるようにしてください。

※リモコンの電源がつかない場合はどこか接続を間違えています。もう一度結線をご確認ください。

リモコンがついてもリモコン画面に湿度が出てこない場合はスチーム発生器の電源の入れ方の順番が間違えている、又はスチーム発生器の結線が間違えている可能性があります。再度結線をご確認ください。

